

# 視聴覚教育

No. 211

発行日 7. 3. 10

発行 岡崎市AVL

編集

広報委員会

視聴覚キーワード  
「パソコン通信」

パソコンを用い、モデムや音響カプラなどの接続機器と通常の電話回線を通して、データの送受信をすること。

## 岡崎の視聴覚教育の一年

「個性を大切にし、人間性豊かでたくましく生きる子どもを育てるための視聴覚教育のあり方を追究しよう」の研究主題とともに、広報・研修・自作・教科の四委員会視聴覚教育活動がスタートした。組織を改編し、視聴覚が持つ効果の研究を進め、日々の授業の中で一層生かしていくように教科委員会を発足させた。

本年度は視聴覚ライブラリーが発足して四十周年を迎えた年である。この記念事業として十一月四日に「岡崎市視聴覚ライブラリー四十周年記念式典」を開催し、三月一日には記念誌「岡崎の視聴覚教育―四十年の歩み―」を刊行した。

一方、国の事業であるフルネットワークプロジェクトが本格化して、十一月四日に「通信・放送機構岡崎リサーチセンター」の開所式が開催され、十一月二十九日には藤川小学校、新香山中学校でVODの実験授業が行われた。年度末には八校の小中学校がその利用を進めている。

岡崎の視聴覚教育活動の一年を振り返ってみ

ると、本年度も全国、県で高い評価を得た。

全国では、自作視聴覚教材コンクールで、小学校部門「三河湾のクルマエビ漁」中学校部門「ゲンジボタルの里」が文部大臣賞、「玉子その安さの秘密―養鶏農家をたずねて―」が優秀賞、「石工業の新しい動き」が入選となったことがあげられる。視聴覚教育賞論文では、広幡小学校、城北中学校が奨励賞、中学校放送コンテストで常磐中学校がラジオ番組部門で優秀賞、小学生ビデオコンテストで大門小学校が特別賞、秦梨小学校、山中小学校が奨励賞を受賞した。

県関係では、NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会で、常磐中学校のラジオ番組、美川中学校のアナウンス部門での最優秀賞をはじめ、八つの入賞があげられる。小学校放送コンテストでは、井田小学校のアナウンス部門での最優秀賞をはじめ、五つの入賞があった。自作OHP―TP募集においては、特選五点を含む五十六点が入賞し、県自作視聴覚教材コンクールでは、最優秀一点、優秀一点、優良三点、佳作二点で、応募の七点すべてが入賞した。

平成六年度

## 県自作視聴覚教材コンクール結果

平成六年度(第39回)愛知県自作視聴覚教材コンクール入賞作品発表会が、平成七年二月十四日(火)に愛知県教育センターで開催された。本年度の応募総数は百一点であり、岡崎からは、応募した次の自作ビデオ・スライド作品七点すべて入賞した。



### ☆最優秀賞

「矢作川の砂―砂の生い立ちを求めて―」

(中三理) AVL・現職教育理科部

### ☆優秀賞

「生き続ける鋳物工場」

(中三社) AVL・現職教育社会科部

### ☆優良賞

「火事をふせぐ」

(小四社) AVL・現職教育社会科部

「魚、その運ばれ方」

(小五社) AVL・現職教育社会科部

「鎌倉街道―中世の道をたどって―」(一般)

AVL・現職教育社会科部

### ☆佳作

「新しい形のスーパーマーケット」(小三社)

AVL・現職教育社会科部

「桃太郎」

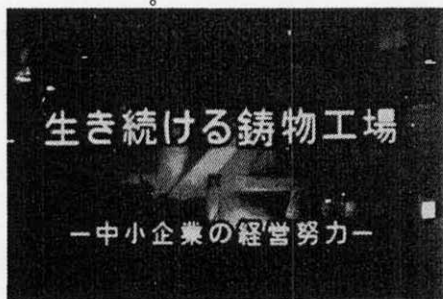
(幼―表現) 市立梅園幼稚園

# 自作ビデオの利用

小豆坂小学校 鷺見 辰美

「おぉー。」

市自作ビデオ「生き続ける鋳物工場」を子供たちにみせた時の反応である。このビデオは対象が中学生になっているが、小学校四年生の理科単元「水・水じょう気・氷」の授業で使った。この単元では、物質は温度によって、気体・液体・固体など状態が変わることを学ぶ。水を熱した水蒸気で膨らむビニール袋に感動している子供たちにとって、高温にすることで鉄が液体になることは、さらに驚きや興味を高める現象である。しかし、残念なことにその状態を実際に見せてやることは難しい。写真が精いっぱいといったところだ。そこで、この映像を利用することにした。このビデオでは、鉄が溶けて流れ出る場面が随所にみられる。飛び散る火花や流れ出る溶解した鉄は、動かない写真よりはるかに迫力がある。実際に体験できることであれば、それに越したことはない。しかし、いろいろな状況から出来ない場合も多い。そんな時、小学校四年生対象だけでも二十六本程ある市自作ビデオ



を利用して。今年は、他に「ごみはどこへ」、「市民の川伊賀川」を授業に取り入れた。どのビデオも実際の見学と組み合わせることで、見学の視点が明確になることなどの成果がみられた。

今後子供たちが興味を高め、考えを深めていける視聴覚教材の利用を考えていきたい。

II レッツ トライノ II

## スライドを見直そう!

スライドのよさは、気軽に、撮った写真の中から必要なものだけを選んでスライド化できるというところです。

ビデオだと、ダビング・編集がちょっと面倒だなという人でも、これなら簡単にできます。さらに、授業等で使用する際に、目的に応じてフィルムをピックアップしたり、順序を組み替えてみたり、大事なところは長く映して、ゆっくりと説明したりできます。

本校でも、平成四年度の道徳研究発表の全体会や、国際交流クラブのクラブ発表の際の映写で、大変効果をあげてきました。今年度の五年生の社会「伝統工芸」の学習では、学区内に住む「彫師」の方の仕事ぶりや、学芸会の劇「はだしのゲン」の原爆投下の場面で、スライドが活用されています。

ビデオ全盛の今だからこそ、今一度スライドのよさを見直してみたいかがですか。

(六名小 土井 孝夫)

## ライブラリーだより

☆「岡崎の視聴覚教育—四十年の歩み—」発刊

ライブラリー発

足四十周年を記念して、多くの方々のご尽力によりまして、三月一日に発刊いたしました。関係各位に厚くお礼申し上げます。

### ☆新規購入機器の紹介

・ファックス (キャノファックス T-404)  
二月三日に待望のファックスを備えることができました。番号は、電話番号と同一です。はじめに女性の声で案内が出ますが、驚いて電話を切らないでください。

・ベータカム、ハイエイト編集システム  
EVO-9800 UVW-1400 RM-450  
ハイエイトで撮影したものをベータカムで編集でき、鮮明な映像作りに役立ちます。

### ※編集後記※

今年度はA判化の初年度で、取材や紙面作りの面で苦労しました。来年度は一層の内容の充実を図り、魅力ある月報にしたいと思います。

